

血液検査におけるパニック値・緊急報告値の有用性 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2024年11月21日～2025年12月31日

〔研究課題〕

血液検査におけるパニック値・緊急報告値の有用性

〔研究目的〕

臨床検査において異常値と遭遇した際に、パニック値・緊急報告値を行うことは臨床側にとって有益です。今回、臨床へ報告を行った血液検査におけるパニック値・緊急報告値が造血器疾患の発見の一助になるかを検討します。

〔研究意義〕

臨床検査において異常値と遭遇した際に、パニック値・緊急報告値を適切行うことは臨床側にとって有益であることを証明します。さらに、本研究によりパニック値・緊急報告値の適切な運用について再度検討します。

〔対象・研究方法〕

2021年1月1日から2024年10月31日までの期間に、臨床へ報告を行った血液検査におけるパニック値・緊急報告値において、全ての報告値の中から骨髓検査を実施した症例数、ならびに実際に造血器腫瘍の診断がついた症例数を求めます。一方、報告したが特に診断につながらなかった症例数についても確認します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 中央検査部

〔個人情報の取り扱い〕

特定の個人が識別できないように患者氏名、ID番号等は記載せずに通し番号を符合します。研究終了後に電子化したデータセットとして、倫理委員会事務局に提出しTARCにて10年間保管の後廃棄されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 野木岐実子 職名 課長補佐
研究分担者:氏名 松澤 真由美 職名 係員
所属: 帝京大学医学部附属病院 中央検査部
住所: TEL:03-3964-1211(代表) [内線 8286]